



## あいぽーとからのお知らせ

東日本大震災から8年が経ちました。北上川学習交流館あいぽーとでは、当時の救命・救護ルート確保、復旧活動の記録パネルや映像資料の展示・上映をしています。

興味のある方は是非ご来館下さい。

これらのパネルが、地域の防災力向上のため、また明日への備えの一助となれば幸いです。



あいぽーと 展示室

### 災害伝承館

震災伝承館を開設して被災経験・教訓を活かすための記録として、被災した市町村などからご協力を頂いた約1万点の写真と映像などを掲載したサイトを作成しています。 <http://infra-archive311.jp/>



### 上映映画



#### 〈備える編ストーリー〉

一つは、岩手県普代村で当時の和村幸得村長が、反対する声もあったなか「明治に15メートルの大津波が来た」という言い伝えにこだわり「高さ15メートル以上」主張し続け1967年に高さ15.5メートル全長155メートルの太田名部防潮堤が、1984年に高さ15.5メートル全長205メートルの普代水門がそれぞれ完成し津波から村人の命を守ったお話です。

#### 〈学ぶ編ストーリー〉

もう一つは、岩手県釜石市の鶴住居地区で大槌湾に面したこの地域は津波により壊滅状態になりましたが小学校と中学校にいた児童、生徒は無事でした。これは釜石市教育委員会と現場の教師たちが取り組んできた防災教育の成果だったお話です。

### 忘れない。

- ◆ 2011年3月11日14時46分。
- ◆ 東日本大震災は、多くの人命、資産を奪い、私たちに大きな爪痕を残しました。
- ◆ 過去から繰り返す津波の悲劇と、その都度建てられた津波記念碑。
- ◆ 先祖の代から続く「二度と繰り返してならぬ」との熱い願い。
- ◆ 津波記念碑を残した先祖のように、同じ悲劇を繰り返さないことを願い、この被災経験・教訓を後世に伝えていくためにパネルを作成しました。
- ◆ 被災者、被災地の思いを忘れない。地域や世代を超えて、今回の教訓を共有していくことが大切です。



※パネルの一部を掲載。

◆編集後記◆ 自然災害の発生頻度が高まることが予測されている近年。災害への備えとして地域の防災訓練などに参加して防災意識を高めてもらいたいと思います。(よ)



# 胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』  
 ～風化させない歴史とつなげる未来～